

代表質問

7会派の代表が行った質問の中から、いくつかを取り上げて要旨を掲載

明政クラブ

E S D世界会議成功に向けて

問 ①岡山開催支援計画の実行に向けた体制は十分か。②世界会議終了後の展望は。

答 ①支援計画は、岡山県や国、地元の市民団体、大学等の34団体で構成する実行委員会が策定している。現在、構成団体が連携し、会議支援に必要な人材の確保など体制の整備を進めている。②より多様な組織や地域が参画できる新・岡山モデルの策

定に向け準備をしている。平成26年の世界会議を契機に、新・岡山モデルによるE S D活動を世界へ発信したい。

晴れの国おかやまの特性を活かした地球温暖化対策

問 住宅や事業所、市有施設への太陽光発電の設置状況と温室効果ガス排出削減効果は。

答 平成24年度末までの累計で、10キロワット未満が11,822基、10キロワット以上が261基で合

計12,083基が設置されている。これにより年間推定総

発電量は67,500メガワットアワー(約18,000世帯分の年間電力使用量に相当)で、約44,000トンの二酸化炭素削減となっている。

目的別の自転車レーンを整備

問 自転車の安全で快適な走行空間をどう確保するのか。

答 自転車は年齢・性別を問わず利用者が多く目的もさまざまなため、市役所筋では、速度を求める「はやい自転車」は車道に設置した自転車レーンを、安全を求める「ゆっくり自転車」と右側を通行したい「逆向き自転車」は歩道の車道寄りを通行することとした。今後も利用者のニーズと道路状況を踏まえ、安全で安心して利用できる走行空間を構築したい。



福渡保育園に設置された太陽光パネル

共産党

労働環境の問題解決のため

関係機関と連携

問 ^{※2}ブラック企業による若者の使い捨てが横行する現状についての考えは。

答 若者の使い捨てが疑われる企業等が社会で大きな問題となっている。平成25年9月に国が実施した無料電話相談では、賃金不払残業、長時間労働、過重労働、パワーハラスメント等の相談があり、こうした労働環境は適切でないと考えている。

本市としても、労働局やハローワークと連携し、若者の雇用状況等の実態把握に努め、相談を受け付けている労働局や労働基準監督署に適時適切につない

でいきたい。

母子や児童の福祉政策の充実を

問 善隣館と仁愛館は早急な建て替えや支援の充実が必要では。

答 善隣館は児童の居室や食堂を、仁愛館は浴室や遊具を改修するなど生活環境の改善を図ってきた。また、善隣館に心理療法担当職員を配置したり、仁愛館でDV被害者等を対象とした



養護の必要な児童が入所する善隣館



「自立よりそいサポート事業」を始めるなど支援を充実させている。引き続き入所者が安心して生活を送れるよう施設整備や支援の充実を図っていきたい。

子育て世代の支援を

問 子ども医療費助成の対象年齢拡大に踏み切るべきでは。

答 本市では、小・中学生の入院医療費に対して、平成22年6月から償還給付による助成を拡大し、23年4月からは県内医療

機関の窓口での支払いが無料になるようにした。

今後の助成拡大については、費用などさまざまなことを検討し、対処方法を決めたい。

／用語解説 ※2 【ブラック企業】

労働者を酷使・選別し、使い捨てにするなど違法または悪質な労働条件で働かせる会社

自由民主党岡山市議団・無所属の会

市長と市民の座談会

「市長と大盛トーク」

問 地域の細かい陳情や要望などに耳を傾けて解決手法を一緒に考え、若者とも本音で議論してもらいたいですが、考えは。

答 「市長と大盛トーク」は、地域の声に丁寧に耳を傾け、本音で遠慮のない意見交換ができる場としていきたい。

平成25年12月に行う2回目の試行では、新成人を対象に準備を進めている。将来を担う若者と、岡山市のあるべき姿について本音で議論していきたい。



岡山の観光スポット～後楽園と岡山城～

後楽園と岡山城を一体的に活用

問 岡山県と連携した後楽園と岡山城の在り方は。

答 県知事との懇談により、両施設の相乗効果をさらに高め、国内外に発信するため、県と市の関係者で、年明けにも協議会を設立する。春の行楽シーズンには、一体的な活用の効果が見える事業を展開できるよう

準備を進めたい。

おかやまマラソン（仮称）で岡山を全国にPR

問 岡山県と連携した取り組みは。

答 県知事との懇談会で、実施について協力を求められ、岡山を全国的にPRできるため賛成した。今後、開催に向けて引き続き県や関係団体と協議する。

まちづくりの3つの視点で総合力の高い都市に

問 市長が掲げる「飛躍岡山」の中長期的な姿は。

答 本市は、自然と気候に恵まれ災害が少なく、交通の要衝に位置し、医療・福祉・教育等の分野をはじめとする都市機能が集積している。

こうした高いポテンシャルを最大限に活かし、中心市街地の活性化、子育て支援、教育・医療・福祉の充実等による「住みやすさ」、経済・産業の活性化等による「力強さ」、防災・減災対策の推進等による「安全・安心」という3つの視点に沿った施策・事業を市民と共に進め、魅力と活力あふれる総合力の高い都市に飛躍させたい。

中心市街地の回遊性を向上

問 回遊性を高めるための具体的な政策は。

答 平成26年度の早期から、回遊性の向上に重点を置いた施策を集中的に実施したい。

長期的な対応としては、自転車先進都市おかやま実行戦略に基づく施策を着実に進め、回遊性の向上を図る。また、市民や事業者の取り組みと連動した魅力づくりの視点による施策を進めていくことが必要と考えており、市民や事業者への支援策も講じたい。

「伝説の岡山市」をベースに岡山市をアピール

問 本市キャッチフレーズの今後の方向性は。

答 平成25年1月、本市ホームページ上の予告サイトに3日間で42万件のアクセスがあった「伝説の岡山市」や「桃太郎のまち岡山」は、本市へ注目を集め、魅力や特色を効果的に広く伝え、都市の認知度や好感度を高めるために使用している。今後も、こうしたキャッチフレーズをさまざまな機会に活用し、積極的に本市をアピールしていきたい。

地域の力で広域的な課題に対処

問 瀬戸内近隣県・近隣都市との連携による新たな瀬戸内経済文化圏の復権についての考えは。

答 近年、生活圏・経済圏が市域を越えて広がり人口構造が変化中、県や他市町村との連携を強化し相互に補完し合うなど、地域の力を結集して広域的な課題に対処していくことが求められている。今後も、広域交流、都市間・地域間連携を進め、中四国、さらには西日本圏域の発展に貢献したい。

公明党

岡山っ子に上質な教育・保育を

問 全国と比較すると3歳児の就園率が低いが、多様な保育が提供されていないのでは。

答 本市では、平成25年5月現在の3歳児人口6,540人のうち、公私立幼稚園に1,286人、公私立保育園に2,811人が入園

している。

集団の中で遊びを通して社会性を身に付ける観点から、3歳児の教育・保育は子どもの発達に非常に有意義である。幼保連携型認定こども園で3歳児の教

育・保育、一時預かりを実施する方針であり、より質の高い教育・保育をさらに推進したい。
新市民病院に保健・医療・福祉連携の拠点を設置

問 具体的な内容は。

答 新市民病院の1階に、市民が予防、診療から介護まで切れ目のないサービスを受けることができる保健・医療・福祉連携機能を担う窓口として、在宅の不安や悩みの相談支援、情報提供機能に加え、保健・医療・福祉のネットワークづくりの総合調整機能を備えた拠点を設け、地域の中核病院を目指していく。

岡山市を広域観光のベース都市としてアピール

問 瀬戸内海という第一級の観光資源の活用策は。

答 国内外に瀬戸内海を中心と

した広域観光ルートを提案し、観光のベース都市として本市を強力にアピールする戦略を進めており、岡山駅や岡山空港に「岡山からはじまる瀬戸内海の旅」というキャッチフレーズの広報宣伝看板

を掲げている。海外からも、大阪から東京までのルート以外に瀬戸内海を中心とするエリアを訪れる観光客が増えつつある。

インターネットや現地イベントで岡山をPR

問 本市は近県から車で訪れる観光客が多いが、さらなる広域PRが必要では。

答 「伝説の岡山市」プロモーションに加え、平成25年11月



ホームページで桃太郎小学校開校

に「桃太郎小学校」というホームページを立ち上げ、国内外へ情報発信している。また、大阪や広島でのキャンペーンや、観光交流都市である釧路市、城下町物語推進協議会を構成する鳥取市や姫路市、中国地方の都市で構成する協議会で行う鹿児島市でのイベントへの参加など、現地に足を運んでの情報発信も行っている。

新風会



コミュニケーション型ロボット
人の呼び掛けに反応し動物らしい動きをする

**全国初の総合特区事業で
介助者の負担を軽減**

問 今までにない在宅ケアを創造できないか。

答 平成26年1月から開始する3つの事業は、すべて全国初の取り組みであり、在宅サービスの幅が広がっていくとともに、介助者の負担軽減が期待できる。

例えば、介護機器貸与モデル事業では、認知症の方の徘徊等の問題行動に緩和効果のあるコミュニケーション型ロボットなどの新しい機器を導入すること

で、さらに進んだ在宅介護の負担軽減モデルを提案することができる。

低価格の落札でも品質確保

問 低価格で落札された工事の品質確保とチェック体制は。

答 一定基準を下回る低価格の入札となった場合は調査を行い、施工体制や積算根拠等を確認した上で、落札者を決定している。

低入札価格調査基準価格未満^{※3}で契約した工事は、通常の工事以上に工事期間中の施工体制の確認を行うことに加え、抜き打

ちの随時検査も行い、品質を確保している。

県との協力でさらなる企業誘致

問 岡山空港エリアに、流通拠点や先端技術の工場等の立地を進めるべきでは。

答 優れた立地環境を活かした産業集積をさらに進めるため、空港周辺の県有地である元第2リサーチパーク用地について、県知事との懇談会で早期の事業着手を要望し、前向きな回答を得た。今後、できる限りの協力和一体的な対応をしていきたい。

コンパクトシティを目指して

問 市街化調整区域地区計画の基本的な理念は。

答 岡山市都市計画マスタープランでは、従来の拡大基調の都市づくりから、コンパクトな市街地を目指すこととしている。そのため、市街化調整区域での無秩序な開発は厳しく抑制する必要があり、開発許可制度の運

用語解説 ※3 【低入札価格調査基準価格】

市の要綱に定める基準価格未満の最低額で入札書を提出した者を落札者とするかどうか調査を行う基準となる価格

用について見直しを進めている。
一方、地域主導の計画的な土

地利用が誘導される場合など、
一定の条件を満たせば、地区計

画制度を活用し開発を容認すべ
きと考えている。

市民ネット



公民館などの市有施設情報を収集中

これからの公共施設の在り方

問 施設全体の情報収集から統廃合までの具体的な目標を踏まえた全体計画の策定は。

答 現在、現地調査による施設情報の収集を行っている。今後は詳細な施設の利用状況、コスト情報、市有施設の配置状況など新たな施設情報の収集・一元化に向けた取り組みをはじめとした市有施設全体にわたるマネジメントを進めたい。こうした

取り組みの基本的な考え方を平成26年度中にまとめる予定で、併せて具体的な年次目標も明らかにしていきたい。

政策形成過程をよりオープンに

問 政策形成過程の公開方法は。

答 案件に応じて市議会や審議会、パブリックコメント等を通じて方針を示し、議会や有識者、市民等の意見を反映するよう努めている。

今後は、さらに市民や事業者とできるだけオープンな場で意見交換を行い、記者会見等を活用して検討状況を適宜報告するなど、できるだけ分かりやすく示したい。

認知症初期集中支援チームの設置を検討

問 医療と福祉の連携による認

知症高齢者への能動的な対応が必要では。

答 岡山市版オレンジプラン策定検討会で、早期受診と対応に向けた医療と福祉の連携体制について協議を進めている。併せて精神保健福祉士や作業療法士などの専門職がチームになって、認知症が疑われる人の自宅を訪問し支援する認知症初期集中支援チームの設置を検討している。

要保護児童等の早期発見・支援

問 ①実態の把握方法とこれまでの成果は。②把握できていない要保護児童への今後の対応は。

答 ①各福祉事務所に地域こども相談センターを設置し、相談や通告を受け付けることで、相談通告件数が増加するなど、児童虐待の早期発見・予防につながっている。②市民に、広く関心を持ち協力してもらうために、平成25年度から子ども虐待防止サポーター養成研修を行っている。

絆

コンパクトシティ構築で持続可能なまちづくり

問 今後目指す本市全体のまちづくりと中心市街地での取り組みは。

答 中心市街地だけでなく各駅周辺や合併した旧町の中心などの地域拠点に集まって居住することで、商業、医療などの施設が集積していく。そうした各拠点と中心市街地を結ぶ公共交通が便利になっていくコンパクトシティをイメージしている。

中心市街地では商業等に加え、文化、コンベンションなど都市

機能が集積したにぎわいのある都市空間の形成が求められるため、回遊性向上を中心とした施策を実施していく。

教育について首長の責任と中立性の担保

問 現在の教育委員会制度には責任の不明確さという課題がある。教育委員会制度改革に向けた国の動きを踏まえた考えは。

答 教育については首長が責任を持つべきと考えているので、市長として責任を持って教育課題にかかわっ

ていきたい。

ただし、首長の交代等によって方針が大きく変わり、子どもたちや学校現場の混乱を招くことが懸念されるため、何らかの中立性が担保されることが併せて重要と考える。



／用語解説 ※4 【オレンジプラン】

国が平成24年9月に策定した認知症施策推進5カ年計画

※5 【要保護児童】

保護者のいない児童または保護者に監護させることが不適当と認められる児童